



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity
2011~2012年度国際ロータリーのテーマ

Rotary Club



合同例会 テーマ「京都花街の人材育成システム」

講師 京都女子大学 現代社会学部 准教授 西尾 久美子 先生
於:ウェディングパレス鹿島殿



司会
濱中副幹事(高砂青松RC)



竹原プログラム委員長
講師紹介



高砂ロータリークラブ 覚野会長 謝辞



▲京都花街の経営学



◎ 高砂ロータリークラブ
米山奨学生 郭 民毘 様



奨学金贈呈



挨拶



昼食

会長の時間

President

合同例会にご出席いただきありがとうございます。

3月も半ばとなりようやく春の兆しを感じられる季節となりましたが、ここ数日大変寒い日が続いています。どうかご自愛下さい。

さて東日本大震災からちょうど一年がたちました。亡くなられた方、行方不明の方を合わせると2万人近い数となっています。

また福島原発の事故により故郷を追われ避難をよぎなくされている方が数万人いると聞いています。

政府の復旧、復興は遅々として進まず苛立ちさえ感じます。被災された方々の心中を察すると心が痛みます。

今年度RI会長のカルヤン・バネルジー氏は強調事項として家族・継続・変化の3つを挙げております。なかでも家族の重要性を強調しています。家族が平和でなければ地域社会の平和はなく、地域社会の平和がなければ世界平和などあり得ないと語っています。

震災から一年、今私達ロータリアンが被災した人々の平和に何が出来るのか、今一度考える必要があるのではないのでしょうか。

先日I・Mでご講演いただいた同志社大学の村田教授の言葉をかりると、ひどい年、アナスホリピリスから希望の年、アナスエスペランスに変えるため力を合わせる必要があります。

本日はこの後京都女子大学准教授西尾久美子先生のご講演があります。

先生は京都のご出身で、京都花街の研究をライフワークにされております。

京都花街がなぜ350年も続いているのか。今日はその秘密についてお話を伺えるのではないかと思います。また我々実業家にとってもそれが経営のヒントになるものと思いますのでご静聴下さい。



幹事報告

Secretary

第33回 通算1529回

1. ハイライトよねやまが届いています

委員会報告

et cetera

◎ e-クラブoneの説明

◎ 新入会員紹介



高砂R.C 加納基宏会員



高砂青松R.C 村上則宏会員



岡本会員

ニコニコ報告 Donation

覚野 成広 (高砂ロータリークラブ会長)

本日は高砂青松ロータリーの皆さんお世話になります。

西田 秀雄 (高砂ロータリークラブ幹事)

高砂青松RCの皆様、本日はお世話になります。

竹原 俊三

西尾先生、今日は宜しくお願ひします。
とても楽しみにしております。

内海 薫

西尾先生、本日はどうぞ宜しくお願ひします。

濱中 幹雄

本日、不慣れな司会を務めさせていただきます。
よろしくお願ひ致します。

岡本崇司

結婚記念日のお祝ひありがとうございました。

中右 和宏・菊地 敬子・鹿間 行雄

柿木 國夫・廣瀬 明正・大橋 卓司

松下 和雄・鹿間 虹美・辻田 重恵

中谷 利幸・都倉 達殊・小西 文孝

澤田 孝彦・嶋谷 拓雄・菱田 克己

岡本 崇司・大村 裕史・井野 隆弘

森脇 祥文・西中 亮二・濱田 喜重

村上 則宏・田水 敬雄

合同例会を祝して

近隣クラブINFORMATION Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	花見家族例会	4/6(金)⇒4/7(土) 18:00～ 於:ウェディングパレス鹿島殿
明石西ロータリークラブ	花見例会	4/5(木)⇒7日(土)「花見例会」 於:寿楼
	祝日・休会	5/3(木)

(注) 高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。……ホームページの情報が早く把握できます。

例会記録 2012. 3. 14(水) 通算1608回

ソング 「我らの生業」「歓迎歌」

出席報告 2月29日 会員数46名 欠席者 2名 出席率95.12% <修正による>
(この内出席免除者 9名)

3月14日 会員数46名 欠席者 10名 出席率76.32%
(この内出席免除者 10名)

本日のゲスト 京都女子大学准教授 西尾 久美子 様
米山奨学生 郭 民配 様

◆プログラム予定◆

3月21日(水)

卓話(廣瀬会員)
「この写真は私の
思い出の○○○です」

昼食メニュー

幕の内&吸物

3月28日(水)

卓話(嶋谷会員)
「この写真は私の
思い出の○○○です」

昼食メニュー

カツカレー&野菜サラダ

4月4日(水)

雑誌月間
【雑誌広報委員長】
井野委員長

昼食メニュー

幕の内&吸物

4月11日(水)

観桜例会
親睦委員会担当

昼食メニュー

お花見幕の内

・昼食メニューは仕入れの都合により変更することがあります。

自由な心

「自由」という言葉に、私たちはどのようなイメージを持つでしょうか。国語辞典には「心のままであること。思う通り。自在」などの表記がありますが、仏教の世界では以下のようにいわれています。

自由とは「自ずからに由る」と解釈されており、人が何らかの精神的な囚われから解放され、その人本来の姿であることを指します。元来自由とは、こうした意味あいも含んでいたといえるでしょう。

社会生活を送る中、不足や不満、心配や恐怖など、マイナスの心に囚われてしまった経験は誰もあるでしょう。しかし、原因は外にあつても、心の状態は自分自身が作り出しているのです。

仕事においても、一度感情が乱れてしまうと、冷静な判断ができなくなります。マイナスの心が起こったならば、いったん止まって、その心から自由になるイメージを持ちましょう。囚われていた心に気づくと、打つべき手段が見えてきます。

様々な感情に惑わされることなく、心穏やかに実力を発揮したいものです。

今日の心がけ ◆ 穏やかな心でいませう

正鵠を射る

「正鵠を射る」とは、中国の古典から生じた言葉です。

正鵠は矢を射る時の的の中央の黒点をいいます。的の中心に向けて矢を射ったことから、「物事の急所や要点を正確につく」という意味で使われるようになったそうです。

仕事においても的があります。例えば単調な業務であっても、それが簡単であることとイコールではなく、相応に大事な急所やポイントが必ずあるものです。

また、業務報告や指示を徹底させるには、口頭・文章を問わず、簡潔かつ明瞭に表現する能力が求められます。それには何が重要であるかを、自らが十分に把握していません。

聞き手や読み手に正確に伝わるよう、話し方や書き方に習熟するのは、いずれは仕事の成果に大きな影響を及ぼす重要な事柄です。

仕事の意義や意味を理解した上で、何が重要で、何を伝えるべきかという核心を押さえてこそ、初めて効果が出るのです。

今日の心がけ ◆ 仕事の意義と重要性を再確認しましょう